

第24回 木田金次郎を偲ぶつどい

# どんざ忌

12月15日(土) 17:00～

会場/木田金次郎美術館

第1部 献花/鼎談

『生れ出づる悩み』出版100年をめぐって

谷口雅春(ライター) × 伊藤大介(有島記念館主任学芸員)

× 岡部 卓(当館学芸員)

第2部 交流会 (ご参加費 1,500円)



いまから56年前の1962(昭和37)年12月15日、木田金次郎はここ岩内で69年の生涯を閉じました。

木田金次郎美術館は、画家の偉業を偲ぶとともに、彼の生涯と彼を育んだ岩内の風土を見つめ直す機会として、「どんざ忌」を開催します。「どんざ」とは、古く漁師が身につけていた「刺し子」の作業着で『生れ出づる悩み』の頃の木田金次郎も身にまとっていた、漁師町岩内の風土を象徴するものです。

今年は木田金次郎が主人公のモデルとなった有島武郎の小説『生れ出づる悩み』出版100年にあたります。これを記念した巡回企画展が東京・札幌・ニセコで開催され、多くの方にふたりの軌跡を鑑賞していただきました。今年は、出版100年をめぐり動きについて、巡回企画展の図録本のメインライターを努めた谷口雅春さんと、有島武郎・木田金次郎を顕彰する両館の学芸員が鼎談を行います。

続く交流会は、岩内ならではの料理を囲みながら、木田金次郎を偲び、歓談の輪が広がる温かな場です。木田金次郎と、この美術館に思いを寄せていただく方々の出会いの場としてお越しいただければ幸いです。



どんざ

開催中の展覧会

秋から冬を迎える企画展

みんなでつくる いろはに木田金次郎

11月8日(木)～2019年1月6日(日)



木田金次郎美術館  
KIDA KINJIRO MUSEUM OF ART

045-0003

北海道岩内郡岩内町万代 51-3

TEL 0135-63-2221